

(大豊町役場)

【テ - マ】持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（ ）

【対象施設】道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（ ）

【事業方式】コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（ 検証 ）

(過疎地のインフラ維持管理モデル構築)

本町は、人口3000人弱に対し管理橋梁が310橋と多く、コスト・人材の面から持続可能な管理が困難な状況である。そのため、将来のまちづくり計画等の地域構想や利用形態を踏まえた橋梁の管理方針を導入した官民連携モデルを検討したい。

①解決したい課題

【橋梁の維持管理における課題】

①地域の実情に即したインフラマネジメント方針の整理

今後、持続可能な管理を目指すためには、地域の実情や利用状況等を考慮した、橋のトリアージを行い橋ごとに管理レベルの設定などが必要と考える。また、橋の終活による管理橋梁の最適化や、診断方法の見直し、効果的なモニタリング、載荷試験による照査方法など合理的な維持管理方法の導入が必要であると考えている。

②将来のまちづくり計画を踏まえた地域との合意形成手法の検討

地域の実情に応じたトリアージや、橋の終活の推進には、地元住民との合意形成を図る事が必要不可欠である。従来は、方針に対し、地元と現地協議を行い、対策方針の合意形成を図ってきた。一方で、本町では高齢化が進み、現地での立会等は困難な住民が多い。そのため、デジタル技術を駆使した現地状況の見える化が必要であると考えている。また、地域住民とは、将来のまちづくり計画を踏まえた合意形成が必要と考えている。上記①②を踏まえた包括的民間委託等、官民連携による解決が必要

【当町の人口・面積・立地】

人口：2866人

（内65歳以上1746人(約61%)）

※R7.12時点

面積：315.06km²

立地：四国地方中央部 高知県北部

【対象となる施設】

道路橋：310橋



国土地理院地図に追記して掲載

②課題解決の方向性等

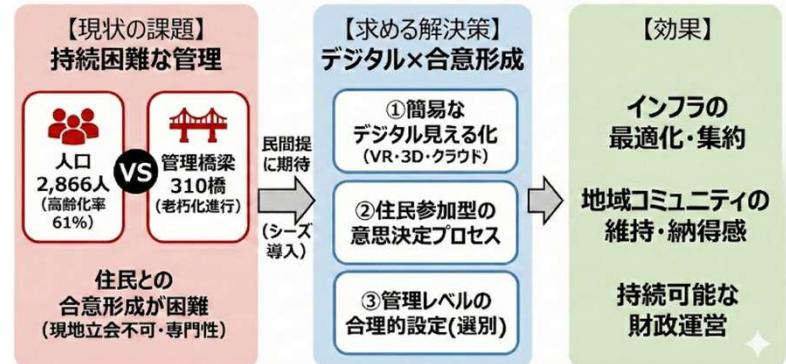
【制約や条件】

- ・特定のシステム導入などによる高額な初期コストが必要ない方法
- ・汎用性のあるデータ形式で、高性能なパソコンを必要とせずとも運用可能なシステム

【期待する事項】

- 合理的な管理レベルの設定に向けた道筋の提言
 - ・令和7年度の調査において、橋のトリアージ実施に当たり技術的、政策的観点を踏まえた管理レベルの設定手法について調査した。それを踏まえ、実際にモデル地区を選定し、効率的な地元住民の意見収集に加え、今後変動する地域情勢を反映し更新できる管理方針管理のスキームを検討したい。
- 簡易なデジタル技術を駆使した見える化
 - ・地域住民との合意形成への活用や住民に向けた現状の見える化を行うため、新技術等を用いたシステム等による合意形成支援を検討し、管理レベルの設定、維持管理の運用にも活用可能なDX化を検討したい。
- 将来のまちづくり計画を踏まえ、地域住民との合意形成手法の提案
 - ・橋の終活やダウンサイ징などに向けて、地元住民と合意形成を図るための技術的な提言を期待する。
 - ・産学官の連携による、ユーザー（住民）側の意向等を踏まえた、包括的な意思決定・合意形成手法の構築など、管理の枠組み構築の提案を期待する。

大豊町が目指す「持続可能なインフラマネジメント」モデル



③課題解決のイメージ・効果

【課題解決のイメージと効果】

- ・モニタリングや新たな評価手法の提案によりユーザーの意向を踏まえた管理を可能とし、適切な時期に適切な対応（修繕や撤去など）が実施し、コスト縮減や地域コミュニティの維持につなげたい。